

課 題 研 究**座 長 集 約**

新潟県立がんセンター新潟病院 三宅 秀三郎

今回の課題研究発表では、“DA・DSA画像の品質管理プログラムの検討”と題して血管造影撮影の画像QCについて報告された。

この報告で述べられた方法は、九州循環器撮影研究会で独自に研究・考案された血管撮影QCファントム（幾つかのQC解析パターンを持つファントム）を用い、簡便な手法でDA・DSA画像の品質管理を可能にしたものである。

一組のQCファントムを撮影することで、画像の品質評価として視覚評価ならびに物理的評価について解析を可能にしている。視覚評価として、経時的評価、鮮鋭性および粒状性の評価。物理的評価として、システム感度特性、コントラスト、解像特性、低コントラスト分解能、S/N比。

発表では、QCファントムによる品質管理の経時変化や幾つかの施設における施設間差についても報告された。なかでもこのプログラムによる品質管理としての管理値を具体的に示されたこと

や、解析をパソコンによるプログラム化したことから今までになくQCを身近なものとして捕らえ、画質を評価する上で重要な要素として確認している。

このQCファントムを解析の基準としての道具として位置づけ、QC解析の手法を確立した興味を引き付けられた研究発表であり、QCのひとつの標準化を示したものと言えよう。

普段、日常的に血管造影撮影に携わっている我々放射線技師にとって、品質管理は極めて重要な行為であり避けては通れないもののひとつである。こういったQCに悩んでいる施設にとって、今回の課題研究発表が朗報として役立つことを期待したい。

最後に、今回ご発表いただいた産業医科大学病院小田先生ならびに共同演者の方々、共同研究施設の皆様の努力に感謝申し上げますと共に、今後の更なるご活躍を期待いたします。